

総 評

国語と英語がたいへん難しく、数学と理科もやや難しくめで、5教科全体の平均点もたいへん低くなりました。

今回の試験は、1年から2年の夏休み前までに学習した内容から広く出題されました。中1の後半に学習した内容があいまいになっている人も多かったのではないのでしょうか。道コンのような試験は、試験範囲が広いことが特徴で、これまで学習した内容のあいまいな箇所を見つけるには最適のツールです。受験後の確認と直し直しによって、効率よく復習し、学習内容を定着させましょう。

2年生の夏休み以降は、勉強が急に難しくなる、差がつきやすくなるなどとよく言われます。今回の結果が良かった人も油断せずに、集中して学習に取り組み、入試に向けての良いスタートを切ってください。

国 語

とても難しい出題でした。

㊦は、比較的よくできていました。㊦は、得点率が低くなる問題はありませんでした。得点率が七割を超える問題が問四(2)Aのみで、大問全体の得点率はあまり高くなりませんでした。実用的文章は、比較的得点しやすい問題が多いため、取りこぼすと周囲と差がついてしまいます。直し直しをしておきましょう。㊦は、問四の得点率が低くなりました。問四のような、心情の変化を問う問題は多く出題されます。問題集などを活用し、このような問題に慣れておきましょう。㊦は、問二と問三の得点率が低くなりました。特に、問二は空欄の前とのつながりが悪い解答が目立ちました。㊦は、問三の得点率がとても低くなりました。文章全体の意味をとらえる必要がある問題であったためだと考えられます。

数 学

やや難しい出題でした。全体的に問題量が多く、後半の大問に十分に手が回らなかった人もいたようです。全体の時間配分にも気を配りつつ取り組みましょう。

①はどれも基本問題ですから、間違えた問題は必ず復習しましょう。問6の不等式は「残りの道のり $\leq b$ 」などの言葉の式を作ってみて、言葉を式に置き換えてみましょう。②のデータの活用は、用語の意味をしっかりと押さえましょう。質問の意味がわかれば、解けたも同然です。③の連立方程式はよくできています。④問2、穴埋めでなくても全体を書いて証明できるようになります。⑤は苦手な人が多いようです。座標上で三角形の面積を求めるときは、底辺と高さは軸に平行にとります。⑥、立体の表面積や体積の求め方は必ず覚えましょう。1年生内容も定期的に復習し定着させましょう。

社 会

標準的な難易度の出題でした。

地理分野は、中難度の問題が多かったですが、③問7の人口ピラミッドの問題はよくできていました。一方、②問3のヒスパニックの記述問題は得点率が低く、「スペインから来た」など、国・地域、言語のどちらかが不十分で×となった解答が多く見られました。基本的な用語は、語句を答えること、その語句を説明することの両方できるようにしておきましょう。

歴史分野では、⑥問1、⑦問2がよくできていましたが、⑧問2は、得点率が低くなりました。江戸時代の文化を苦手としている人が多いので、間違えた人は、文化の名称、中心地、代表的な人物・作品を整理しておきましょう。

理 科

やや難しい出題でした。

①は、一部の問題がやや難しかったものの全体によくできていました。基本的な内容が多くありましたので復習しましょう。②は、問2(2)・(3)と問3が計算があったためか得点率が非常に低くなりました。応用的な内容もありましたが、質量パーセント濃度の計算はしっかりできるように演習を繰り返してください。③は、問4の得点率が低くなりました。重要な事項ですので間違えた人は確認しておきましょう。④は、問5が思考力が必要とされる問題で難しい出題でした。2年分野の⑤～⑧は学習した直後ということもあり、よく出来ているものが多かったようです。今のうちに復習して忘れないようにしっかりと定着させ、2学期からの学習に備えましょう。

英 語

とても難しい出題でした。

①のリスニング問題は、選択式問題はよくできていましたが、問4の問題が難しかったようです。

②、③は、2年生で学習した内容を中心とした長文問題でした。単語や文法は覚えているつもりでも、出題形式が変わると正しく答えられないことがあります。2年生で学習した単語や文法には難しい内容も多いため、苦手な分野は重点的に復習しましょう。

④の選択問題は、設問ごとに得点率に差が見られました。いずれも教科書の本文をもとに出題しています。間違えた問題は直し直して終わりにせず、教科書のどの部分に関連しているのかを確認することが効果的です。問題と教科書を結び付けながら復習し、理解を深めていきましょう。